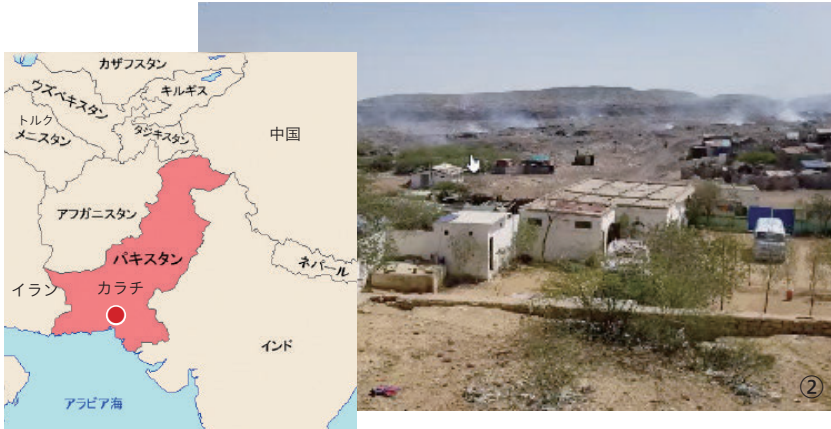


コルザはフランス語で「菜の花」 生活クラブ虹の街の機関紙です



目次

- 2 活動ファイル: 研修 アル・カイルアカデミー
- 3 JFSA からのお知らせ
- 4 特集: 第 48 回庄内交流会
- 5 クラブちゃん
- 6 千葉グループからのお知らせ:
風の村 W.Co 千葉 はぐくみの杜を支える会
- 7 ひと: 組織運営スタッフ 千葉県からのお知らせ
こんにちは! 赤ちゃん♪せっけんプレゼント
- 8 ブロック活動ファイル: 柏 千葉 11 月のデポー

- ・1987 年、カラチ市のスラム地域に子どもたちが無料で通える小さな学校が開かれた。
- ・2005 年、パキスタン北部大地震の際（死者はパキスタン・インドで 7 万人以上）アル・カイルアカデミー関係者の故郷の村も被災した。物資の支援を経て、村人と協力して小さな学校（青空学校）を開設…①
- ・キャンパス（手前）の裏の丘から見えるごみ捨て場と集落。ごみ捨て場からは日常的に野焼きした煙が立ちのぼっている…②
- ・ムザヒル校長と子どもたち…③
- ・太陽光パネルを屋根に設置し慢性的な停電に備えるアル・カイルアカデミーの本校…④

写真提供 JFSA. 詳しくは、2～3 ページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

理事会だより（9 月議事抜粋）

9 月理事会は新型コロナウイルス感染防止対策のため、実出席とオンライン出席の併用で開催しました。

① 八街市の立野園芸の圃場にソーラーシェアリングを設置予定です。2022 年 4 月の発電開始予定に向けてオープニングセレモニー等を検討する実行委員会を立ち上げます。

8 月の組織報告 総供給高 629,661,266 円
総組合員数 44,303 人（班 4,475 人 個別 22,684 人 デポー 11,539 人 その他 5,605 人）

② 福島県と他地域の比較・全国各地の実態把握を通じて、甲状腺がんの早期発見・脱原発活動につなげることをめざし、2021 年度も甲状腺検査活動に取り組みます。コロナ感染対策のため、甲状腺千葉の会と連携し、11 月 28 日（日）にデポーおおたかの森を会場に完全予約制で行います。

2021 年度下期組合員リーダー全体研修 「アル・カイルアカデミーと JFSA」



9月30日、2021年度下期組合員リーダー全体研修を行いました。ブロックの運営委員・理事・職員合わせて62人が自宅や事業所からオンラインで参加しました。組合員リーダー研修は学びの場であると同時に交流の場です。参加者が一堂に会することで仲間意識や組織力を高めることもねらいとしています。

第1部 組合員活動交流

まずは虹の街6ブロックのブロック紹介。ブロックの全体像を紹介したり、アピールポイントを絞って紹介したり、動画やフリップを活用して紹介するなど、ブロックの多様性がうかがえました。その後は1グループ10人弱でグループ分けしコロナ禍の組合員活動についてのディスカッションや企画の事例共有をしました。私のいたグループは職員・理事・運営委員で構成され、組合員歴・活動歴・担当役務がさまざまなメンバーで意見交換しました。コロナ禍での活動の中心はオンラインです。したがって話題はオンラインコミュニケーションツールであるZoomのあれこれ。不慣れな人もいるので企画参加者に偏りが出してしまうという話やZoom講座をマンツーマンでやった・これからやる予定という報告がありました。また、コロナ禍で会えないなかオンライン企画で交流できて孤独から解放された人もいるという話もあり、組合員とつながる手段としてこれからもオンラインを上手に活用していきたいとメンバー一同再確認しました。

第2部 JFSA 学習会

JFSAの取り組みを学びパキスタンのようすを知ることで、デボーや配達で回収をしている古着の先にある国際社会の問題に対して自分たちにできることを考えるきっかけにすることがねらいです。

JFSAの取り組みについてJFSA理事長の依知川守さんは、この間、古着回収に

協力してパキスタンのカラチ市にある学校（アル・カイルアカデミー）の運営支援をしていること、なぜパキスタンなのか、古着積み込み作業のようす、パキスタンでその古着がどう扱われていくかを解説。「現地ではごみ収集システムが未整備な上に焼却施設が一つもなく、野焼きが街はずれのあちこちで行われ、焼却後のごみのなかから金属やガラス等の有価物を選び分けて換金するのが子どもの仕事になっています。それを見たアル・カイルアカデミー校長のムザヒルさんは子どもが通いやすいようにとごみの野焼き場にある集落に学校をつくりました」と学校や教室のようすなど、映像を交えて説明してくれました。（表紙写真②）

衝撃的な映像と共に、ムザヒルさんの子どもの教育に対する熱意がうかがえました。

アル・カイルアカデミーから中継



オンラインで。左上、依知川さん。右上、ムザヒルさん。下、福住理事長

パキスタンとのオンライン交流では、ムザヒルさんは「貧しい子どもたちに何かしないといけないとずっと考えていました。最初は物的支援をしましたが、20年やってみて基本的な解決になっていないことに気づき、自尊心を傷つけていると思った。仕事を得て誇りを持って生きることが大事で、それができるよう子どもたちに教育を届けたい。そのために学校をつくろうと考えました。学校が始まった当初は、『食べ物や服はくれないのか』と子どもたちから不満を言われましたが、

教育こそがそんな子どもたちを変えてくれると信じて頑張りました。教育に関心を持ってもらうには、まず子どもとの関係を深め距離を縮め、学校のイベントに親や地域の人も呼び学校がどんなところか・教育の必要性を理解してもらいました。私の存在は小さいです。このように教師や生徒が皆さんとつながることが大切です」と話しました。

次に女子生徒2人も参加して「勉強して医者になりたいと」話しました。ムザヒルさんの思いが彼女たちには伝わっているようでした。

JFSAの運動に思うこと

JFSAのロゴには「豊かなくらしを支える世界の貧しさを考える」という言葉が書かれています。私たちの身の回りにはたくさんの輸入品がありますが、その多くは開発途上国の人々の手によってつくられています。私たちの便利な生活は開発途上国の人々なしには成立しません。そして、家計を助けるために働かなければならず教育が十分に受けられない子どもが多くいることは開発途上国の問題になっています。

JFSAの古着回収は問題解決のために私たちができることのひとつと言えるでしょう。ムザヒルさんの教育に対する思いに重ねてこれからも支援を続けていきたいと思いました。

コロナ禍でオンラインという選択肢もでき今回は現地からの中継も盛り込んだ学習会となりました。パキスタンにいるムザヒルさんや生徒の皆さんの顔を見ながらやりとりすると、より自分事として引き寄せて考えられる気がします。これからも現地と交流の機会をもち、回収に協力することで国際社会の問題に向き合っていきたいと思い

理事長 福住洋美

シェークリヤ
شکریہ
ありがとうございました

(NPO) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会

事務局：千葉市中央区都町 3-14-10

tel & fax：043-234-1206

(9：00～19：00 木曜定休)

e-mail: jfsa@f3.dion.ne.jp



検
索

日本ファイバー
リサイクル

JFSA は 1995 年から、パキスタンのスラムの学校アル・カイルアカデミーを支える人たちと衣類や毛布、バッグなどのリユース事業を行い、学校の運営支援をしています。リユースに関わる人たちがお互いに協力することが、支えあう社会をつくるために大切なことだと考えています。

回収とパキスタンへの送り出し

2020 年 9 月～2021 年 8 月までの回収量は 135 トンになりました。8 月 10 日には第 74 回のコンテナ積み込みを行い、パキスタンに 98 トン（コンテナ 4 回）を輸出することができました。積み込んだ重量は過去最高で、25t を超えました。ご協力ありがとうございました。

しかし、コロナ禍でコンテナ輸送の海上運賃の高騰が続き、輸出経費が増えていたため、現地での販売利益が減ってしまっていることが課題となっています。



協力グループの皆さんと積み込みの記念撮影

国内リユース事業では、フリーマーケットやイベント開催はほとんどできませんでしたが、JFSA 古着ショップを利用する人たちは増えています。衣類のリユースへの関心は広がっていることが感じら

れます。今後、子育て世代の利用をもっとすすめたいと考えています。

学校への新型コロナの影響

パキスタンでは昨年春から、政府がたびたび学校の休校措置をとっています。アル・カイルアカデミーは、子どもたちの学ぶことへの関心が下がってしまうことを心配し、休校中も家庭訪問を続けて、宿題を出したり、必要な家庭に食料を届けたりしています。郊外にある分校では、生徒の家の庭を借りた少人数の出張授業もしてきました。

7 月からも休校措置がとられていましたが、8 月末に生徒数を 50% に減らした分散登校が許可されています。政府は教師のワクチン接種を義務づけていて、アル・カイルアカデミーもスタッフの大半は接種が済んでいるそうです。



マスクをして授業を受けます

無料の医療センター

昨年 10 月にアル・カイル医療センターがカレッジの 1 階に開かれました。子どもたちや家族の暮らしを守るためには、重症になる前に治療できる環境が必要です。地域の人たちも利用できる無料のセ

ンターで、女性たちに妊娠や出産についての知識を伝える相談窓口も設けられています。新型コロナウイルスに感染した人には、ドクターのイクバル氏が指定病院と連絡をとって治療を支えています。



医療センター

アフガニスタン政変の影響

アフガニスタンの政変を心配される方たちからお問合せをいただいておりますが、今は暮らしへの影響は見られないとのことです。

1979 年から 10 年間続いたアフガニスタンへの軍事侵攻では、数百万の人々がパキスタンに逃れて来しました。今も市内のバザールなどで働く難民の子どもたちの姿を目にします。今後、数十万の人々が国外難民となる予測もあり、厳しいくらしを余儀なくされるとされる人々への心配がされています。

衣類・毛布・バッグなどの回収のお知らせ

デポー回収 11 月 30 日～12 月 4 日
(デポー浦安を除く)

配達便回収 2022 年 1 月 24～28 日
1 月 31 日～2 月 4 日

JFSA で有効活用できるものを回収しています。倉庫の保管スペースもいっぱいになってしまうので、受付品目以外のものは、申し訳ありませんがご遠慮ください。ご不明な点はお気軽にお問合せください。

JFSA 古着ショップ

CHARKHA BAZAAR(チャルカバザール)

千葉市中央区都町 3-14-10

10：30～19：00 木曜定休

kapre (カプレ)

柏市大室 176-1 10：30～19：00

NPO 法人 JFSA を支える会員・支援メンバーを募集しています

会員は次の 2 種類です

1. 会員（正会員） JFSA の目的に賛同して入会した個人または団体

2. 支援メンバー JFSA の目的に賛同し、賛助の意思を持つ個人または団体

●年会費（2021 年 10 月～2022 年 9 月）

個人：会員 5 千円／支援メンバー 2 千円

団体：会員 5 万円／支援メンバー 1 万円

●会費振込口座（郵便振替）

口座番号：00160-7-444198 加入者名：JFSA

(会費は JFSA に直接お持ちいただくこともできます)

午後の部 山形親生会に参加する14生産者からオンラインによるアピールがありました。発表順。

① JA さがえ西村山



りんご部会と西洋梨部会は、カキ殻とカニ殻を畑に必ず散布して部会全体で高品質を保つ工夫をしています。大雪や遅霜の被害などありますが、おいしい農産物をと生産しています。

② (株) 飛鳥フーズ



肝と塩だけでつくる塩辛は、山形県の酒田港前の工場で新鮮なうちに加工されています。生イカの水揚げは年々厳しい状況ですが生活クラブには安定供給します。

③ 羽黒・のうきょう食品加工



平成元年、強風で曲ってしまったアスパラを加工した「アスパラ漬」が提携のきっかけ。09年から農家の自家用生産の筍を買い取りタケノコの水煮の加工を開始しました。

④ 千代寿虎屋(株) 月山トラヤワイナリー



1697年創業。酒米は、社員や大江酒米研究所の協力を得て生産。ワイナリーは地元のぶどうを使用。酒粕や米ぬかは肥料・鶏の餌として資源循環に活用しています。

⑤ (株) 平牧工房



ポークウインナーの製造工程を見学。平田牧場の豚肉を真塩と素精糖などで調味し羊腸詰。組合員と共同開発したスモークチップで燻煙・加熱。材料も工程もとてもシンプルです。

⑥ (有) 月山農場



赤かぶ漬けや庄内茶豆を生産。赤カブの作業工程を写真などで見学。手作業でヘタをとり形成・箱詰。一つ一つ大切に作られています。はりはり大根が加わりました。

⑦ (有) 余目農産加工



もち米(きぬのはだ)の生産から一貫して行います。丸もちは、丸めたもちを板に並べ、上から別の板で挟んで優しく潰して平たく成形。手作業の温かさを感じました。

⑧ 鈴木食品製造(株)



ギフトで人気の「ラ・フランスゼリー」などの原料からゼリーへの加工を行っています。生産量は1日1万個。トマトケチャップの原料の国産トマトピューレも生産しています。

⑨ 酒田米菓(株)



1951年創業以来、国産米100%にこだわってせんべいをつくっています。米と塩のみのうす焼きせんべいの元祖。せんべいを通して日本の米文化を次世代に伝えて行きます。

⑩ (資) 杉勇蔵岡酒造所



1923年創立。料理酒や日本酒「遊佐来」などを生産。米どころ遊佐町と鳥海山の伏流水から作られた日本酒は絶品。酒米の「雪化粧」は生活クラブ専用です。

⑪ (有) 月山パイロットファーム



1997年生活クラブからの要望で馬鈴薯を栽培。赤土の畑で採れた小さな馬鈴薯を生活クラブは全量買い取り。以来、農業や化学肥料をできるだけ使わない野菜作りを行っています。

⑫ 庄内みどり農業協同組合遊佐町共同開発米部会



遊 YOU 米・山形95号・ササニシキ・つや姫・とことん共生米の生産者。循環型農業と環境保全型農業をめざし、生活クラブの主食を担っています。

⑬ みどりサービス



JA 庄内みどりの子会社の食品部門・マルノー山形の柿酢(2年熟成)は、蔵の神様(酵母や酢酸菌)の棲む醗酵室で、毎年30~40tの庄内柿を仕込んでいます。

⑭ (株) 平田牧場



1967年設立。1974年庄内交流会にて組合員からの要望で豚肉の取り組みを開始。「健康な豚」にこだわった品種・飼料・飼育管理。新調のスライサーで、さらに鮮度保持UPです。

消費委員 鶴来亜矢乃 竹原久美子

オンライン
Zoom

鈴木宣弘講演会

食と農の未来を考える

無料

11月22日(月)

10:00~11:50

会場: 美浜文化ホール音楽ホール

日本社会が大きな変化に直面している今、これからの「食」と「農」はどうあるべきか。私たちが真摯に向き合わなければならない問題です。「食」と「農」について考えることは、これからの社会を考えること、人の生き方を考えること。



申込はこちらから
11/5 締切り

第48回庄内交流会 ---「自給」と「循環」をテーマに---

7月26日、第48回庄内交流会が開催されました。約50年間続いているこの交流会は、生活クラブの食料基地ともいえる山形県庄内地方の生産者と組合員が交流し、農業政策や社会状況をともに学び理解を深め発展さ

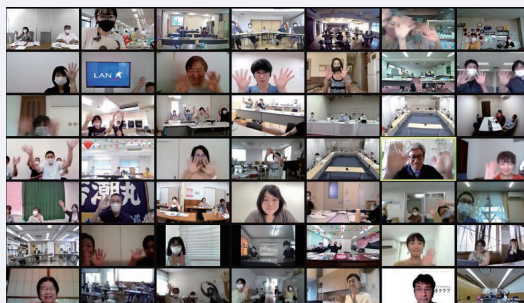
せる目的で毎年現地で開催されています。昨年はコロナ禍で中止となりましたが今年はオンラインでの開催となり、北海道から兵庫までの生活クラブ組合員218人（千葉からは5人）と生産者51人が参加しました。

午前の部はビジョンフォードの生産者からのお話し

庄内遊 YOU 米

庄内みどり農業協同組合遊佐町共同開発米部会長の今野修さんから、気候変動や高齢化、後継者不足、市場価格の下落など厳しい現状にある農業をどのように守っていくのか、遊佐の取り組みである循環型農業を維持し、つくり続けられる・食べ続けられる仕組みの大切さなどについてのお話がありました。

「生活クラブオーダーメー



ド米の価値を組合員に分かってほしい」という今野さんの言葉が印象的でした。

平牧の豚肉

「食料自給率向上と減反政策による田んぼの利用から30年前に庄内で始まった豚へのお米の給餌が今では日本全国に広がり、補

助金制度など政策を変えるまでの仕組みになりました。お米を給餌することで豚肉も甘味が出ておいしくなります。今や米育ち豚や三元豚などがさまざまな場所で使われ、その価値が薄くなってしまったり、飼料の高騰により価格が抑えられなくなったり、厳しい現状もあります。ロース・肩ロースの利用が低く部位バランスが崩れてきています」と

(株)平田牧場のカイゼン室長の北野裕稔さんの言葉です。

つながり続けること

私たちの消費材が生産者と共につくり上げてきた「オーダーメード」であるということを再認識し、これからもつくり続け、食べ続けられるよう、参加した組合員一人ひとりが語り手となり伝えていくことを確認する交流会となりました。

来年は、ぜひ現地で会いたいと思います。

消費委員長 並木道代



マンガ:
わたべに美

何を注文
しようか
迷ってるの
巻



最近献立がイマイチな感じで...

私はね、

1 動物性のたんぱく質

肉・魚・たまごなど

2 野菜

常備野菜(玉ねぎ・人参・馬鈴薯) 旬の葉物・きのこなど

3 脂質

なたね油・ごま油・オリーブオイルなど

4 炭水化物

米・麺類など

5 基本の調味料

さしすせそ(素精糖・真塩・食酢・丸大豆醤油・味噌) かつお細削り・牡蠣味調味料・マヨネーズ・トマトケチャップ・中濃ソースなど

を常備するようにしてよ。

でも、たまにはチャチャッとつくりたいなあ。

食べたものでからだはつくられるっていうから、食事は大切だね。

こだわりの食材が強い味方だね! 実りの秋、食欲の秋、おいしいご飯つくろう!

時短には、誰でも10~15分でできちゃうビオサボ食材セットが いいよね。常備食材をちょっと足して、オリジナルレシピも作れちゃう!

うちの夫も気軽に作ってるよ!

食料調理タイプ? 子ども向けとかいろいろ探せるね

ビオサボレシピ

ビオサボレシピものぞいてみてね!

*ビオサボ食材セットは、デポーでも取り扱いを始めました。詳しくは、デポーフロアへ。



生活クラブ風の村



事業本部：佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル4階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

<https://kazenomura.jp/>

e-mail : info@kazenomura.jp

精神科に特化した 訪問看護ステーション Arica

精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム推進基金（ぴあ基金）の後押しを受け、7月1日に精神科に特化した「生活クラブ風の村訪問看護ステーション Arica」が誕生しました。

Arica という名称は日本語の「在り処」と同義で、人やモノの「存在」を指し示す言葉です。出会いのあった利用者とそれぞれの「ありか」を一緒に見つけていきたいという願いを込めて名付けました。

Arica は開設と同時に「中核地域生活支援センターすけっと」や「相談支援事業所こもれびさくら」とオフィスをつなげて協働し、医療や福祉の垣根を越えてより包括的かつ質の高い支援が提供できる体制を整えようとして

いるところです。近年、精神障がい者の支援では「リカバリー」という言葉が広まりつつあります。リカバリーとは「精神に障がいを持つ人が、それぞれ自分の人生を主体的に追及すること」と訳し、利用者が自分の人生を取り戻していく過程を応援することが我々に求められています。

日本の精神医療保健福祉は今でも他の先進国より数十年は遅れていると指摘されます。障がいがあっても地域での生活が当たり前とされている世界のなかで、日本はまだ精神科病院や施設、あるいは家族がそのケアを担っている部分が多いのです。

これから「訪問看護ステーション Arica」は中核地域生活支援センター



や相談支援事業所の協力を得ながら、訪問を通じて当事者の地域生活が充実したものになるように尽していく所存です。まだまだ小さくつたない事業ではありますが、佐倉・四街道・酒々井におけるメンタルヘルスの向上に貢献できればと思っています。

訪問看護ステーション Arica 上田昌広

訪問看護ステーション Arica

住所：千葉県佐倉市王子台4-28-12
T・第一ビル 201号

tel : 043-312-3404

ワーコレ千葉



事業本部：柏市十倉 380-97 センター柏内

tel & fax : 04-7134-0072

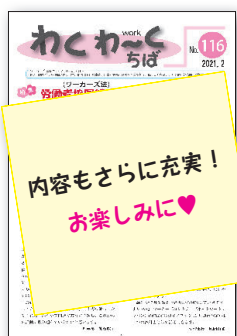
<https://wcochiba.org/>

e-mail : wcochiba@s2.dion.ne.jp

機関紙「わくわ〜く」発行に向けて活動中

虹の街と共にすすめている、ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) を広める活動の1つとして、W.Coの機関紙「わくわ〜く」の編集委員を組合員から公募し、5人の編集メンバーが集まりました。

9月より、編集ミニ講座を行いながら編集会議を重ね、発行に向けて活動を始めています。W.Co事業所の働き方や地域との関わりなどを組合員の目で取材し、感じたことを記事にし、機関紙完成まで一緒に作業を行います。



W.Co事業所や関連団体に配布しているこの機関紙を、今年度は組合員の皆さんにも配布予定です。乞うご期待！

特定非営利活動法人

ワーカーズコレクティブ千葉県連合会
広報部

はぐくみの杜を支える会

住所：君津市糠田 64 番地



tel & fax : 0439-32-2270

<https://hagukuminomoriwosasaerukai.jimdo.com/>

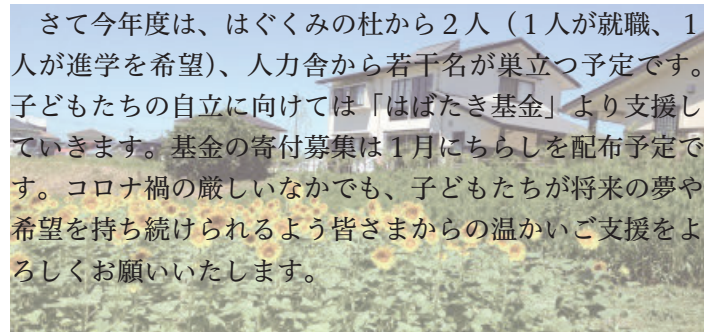
e-mail : hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp

会員加入のお礼と「はばたき基金」のお願い

社会的養護のもとで育つ子どもたちへのご支援をいつもありがとうございます。5月に募集したはぐくみの杜を支える会の会員には、新規で244人から595口の申し込みがありました。改めて感謝申し上げます。

はぐくみの杜では、感染拡大の影響で夏のお出かけイベントはできなかったものの、敷地内で「夜の映画会」や「ミニ四駆大会」などを開催して楽しめました。感染対策に気をつけながら、子どもたちと向き合うスタッフの頑張りに頭が下がります。

さて今年度は、はぐくみの杜から2人（1人が就職、1人が進学を希望）、人力舎から若干名が巣立つ予定です。子どもたちの自立に向けては「はばたき基金」より支援していきます。基金の寄付募集は1月にちらしを配布予定です。コロナ禍の厳しいなかでも、子どもたちが将来の夢や希望を持ち続けられるよう皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



ひと



新規加入者向けにユニークなファイル考えた佐倉ブロックで、組合員から組織運営スタッフ（職員）になって活躍中の清松さんに話を聞きました。

清松 淳子さん

（2003年加入）

職員になったのはいつですか？

加入当時、助産師さんに生活クラブの活動をすすめられたことがきっかけで活動に携わるようになり、支部リーダーや組合員事務局・理事を経て2012年に職員になりました。

組織運営スタッフはどんな仕事ですか

組合員活動が、方針に沿いながらスムーズに運営されることをサポートすることです。

新規加入者フォローについて教えてください

加入したての組合員には、直接会って伝えたいことがたくさんあります。企画を開催してもなかなか

か会うことができないな

ど課題があるなか、運営委員会などで話し合いを重ねました。いろいろな書類が1つにまとまっていたら、便利だと「まるわかりハンドブック」

（写真）をつくりました。そこへファイルしてもらえらるよう

に、「News Letter」を作成し、月ごとに半年間、さまざま

伝えたいことをお届けしようと、フォローが始まりました。

内容は消費材・組合員活動のこと、生活クラブでんきやエコロ制度・グリーンシステムなどです。『News Letter』を見て、消費材や活動について少しでも興味や理解

が深まったら嬉しいです。また、会って話す機会も

大切にしたいと思い、ウエルカムクッキングやビギナーズカフェという企画も案内しています。生活クラブのことやどんな消費材が気に入っているかなど直接聞いてみたい

と思っています。好きな消費材は何ですか。

私が今気に入っているのは、はちみつ純玄米黒酢ドリンクです。今は豆乳で割って飲んでいます。ぜひ、お試しください♡



虹の街は誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。その一環として、千葉県と協力して暮らしに関する情報をお知らせします。

わたしとみんなの安全を守る プラス防犯

・・・明日からできる防犯活動・・・

日々の生活に「防犯の視点をプラス」することで、犯罪が起こりにくい環境をつくり、あなたやご家族の安全を守る活動です。

たとえば、こんな活動です

- 地域の人や子どもたちを見かけたら「あいさつ」をする。
- 子どもたちの登下校時間に合わせて、花の水やりや家回りの清掃をする。
- 自宅やお店・事務所から子どもたちを見守る。
- 通勤や買い物・犬の散歩やウォーキング・ジョギングの際に、周囲のようすに異変や異常がないか気をつける。



千葉県からのお知らせ

チーバくん



プラス防犯に関する情報は、千葉県 HP へ↑参加できる取り組みや防犯パトロールに関する情報を掲載しています。

環境生活部くらし安全推進課防犯対策推進室
TEL: 043-223-2333



配達時またはデポフロアに提出してください。

こんにちは！赤ちゃん♪ せっけんプレゼント お誕生おめでとう！

金島 彩叶（あやと）ちゃん	2020.11
小俣 佑都（ゆうと）ちゃん	2021.03
永島 多桜（たお）ちゃん	2021.03
松丸 晴音（はると）ちゃん	2021.05
阿部 椿（つばき）ちゃん	2021.05
宇田川 航大（こうだい）ちゃん	2021.05
御代川 夏己（なつき）ちゃん	2021.07
海保 文花（ふみか）ちゃん	2021.08
相川 東紀（はるき）ちゃん	2021.19
池田 ゆうひ ちゃん	2021.09

組合員氏名	組合員番号	申込締切
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請書		1歳の誕生日の前日までに申請してください。
（太枠の組合員氏名と番号を記入してください）		
赤ちゃんの なまえ	ふりがな (男・女)	
赤ちゃんの生年月	20 年 月 生まれ	
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。（はい・いいえ）		



↑ WEB からの申請はこちらから

ブロック活動ファイル

柏

親子でアイスクリームづくり

8月3日、新生酪農(株)交流会を開催、親子16組が参加しオンラインでアイスクリームづくりを体験しました。新生酪農(株)の岩瀬尚哉さんから、「生活クラブのアイスクリームは牛乳がもつ新鮮な風味を大切に考え、卵や添加物を使用せず、ヨーグルトも指定酪農家の生乳を原料に牛乳本来の自然な風味を生かしています」というお話を聞きました。

アイスクリームづくりに参加した子どもたちは皆必死に袋に入った材料をフリフリ！できたてを笑顔で頬張る姿においしさが伝わってきました。「SDGsを意識しながら皆で地球を守っていかないと、牛さんも人間も住みにくくなって大変なことになるよ」という岩瀬さんの言葉が印象的でした。

運営委員 佐藤芳恵



千葉

デポー園生10周年イベント

7月16・17日、開所10周年を記念してバースデーフェアを開催しました。スタンプラリーでは、1週間前からスタンプを集めて来所した組合員に消費材をプレゼント。当日は、デポーチーム制作の大きなバースデーケーキのオブジェが登場し、お世話になった方々からの音声メッセージが流れ、組合員によるバルーンアートの飾りつけもあり、フロアはとても華やかでした。

生産者や組合員からのお祝いコメントを集めた「そのうの木」を作成、建築時・開所時の写真も掲示し、10年間の歩みを共有しました。

コロナ禍にも関わらずたくさんの来所があり、多くの組合員と10周年を祝うことができました。



運営委員
恒松佳世



10:00 オープン!

お休み

11月14・21・28日
12月5・12日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

今月のトピックス

生まぐろ入荷 11/5 みつわ台 11/6 おおたかの森
11/8 真砂 11/29 新松戸

消費材紹介キャンペーン(最終).....
11/1~7 ひじき40g・マヨネーズ200g チューブ

10% off

組合員の皆さまへ ご協力をお願い

- ・来所時のマスク着用と手指消毒を(ワクチン接種済みの方も)。健康上の理由でマスク不着用の方へのご理解をお願いします。せきや発熱等の場合は入店をご遠慮ください。
- ・混み合う時間帯を避けてください。(13:00~15:00 比較的空いています)
- ・お買い物はなるべくお一人でお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策継続中

- 交流会・試食などは引き続き当面中止します。
- フロアでは、定期的な消毒と換気、ワークスによる対策を継続中です。

デポーにも登場!
デポー食材セット



↑デポー情報は
こちらから

11月のデポー

イベント・入荷案内

- 黒豚入荷 11/11
- 平牧金華豚入荷 11/25
- ほうきね牛入荷 11/6・20
- オルタフーズウィーク 11/1~7
- 中華まんじゅう紹介
- せっけんの街の日 11/1「せっけんの街」の消費材..... 5% off
- *大津ヶ丘・園生は11/2
- あったか鍋物フェア 11/5・6
- 鶏肉ブツ切・ポン酢しょうゆ(ゆず)・すき焼きのたれ
- 冷凍品お買い得 11/7
- 冷凍品2パック以上で..... 5% off
- おうちでごちそうフェア 11/12・13
- 開拓牛煮込み用・エコシュリンプM・おすすめワインなど..... 5% off
- 漬物・納豆ウィーク 11/15~20
- カジノヤのおすすめ納豆類..... 10% off
- ごはんがうまいフェア 11/19・20
- 三元豚ロース薄切り・生姜焼き用・卵3品目..... 5% off
- おでん・こんにやくウィーク 11/22~27
- こめや屋食品のおすすめ練り物..... 10% off
- グリーンリーフのおすすめ蒟蒻類..... 5% off
- 簡単ランチ&ディナーフェア 11/26・27
- 豚ひき肉5品目・マルゲリータピッツァ・冷凍オムライスなど..... 5% off

メールマガジン 好評配信中!

携帯・スマホにデポーの耳寄りな情報が届きます

登録・詳細はフロアで